

善光寺バレーコラボネット

支援概要

善光寺バレー管内の技術・研究開発に携わる企業人と、大学の研究者および支援機関職員の交流により人的ネットワークを形成するとともに横断的に産学官連携することにより研究開発を促進することを目標に平成17年から続いている事業です。

年間4回の例会を開催し、県外から様々な分野で秀でた講師を招いての講演会を開催したり、会員企業の技術発表を行ったり、先端企業の視察を行いお互いの知見を深める活動を行っています。

支援経緯

6月に今年度1回目の例会を開催しウイングアーク1st株式会社の大川氏に「デジタルトランスフォーメーションの考え方・進め方」と題してご講演いただきました。

8月の第2回例会では今年度から新規会員として入会された2社と既会員の1社から、社内で行っている事業や開発技術について報告いただきました。

10月の第3回例会では、会員の2社から開発技術の報告をいただきました。

3月の第4回例会では、株式会社サーキットデザインの小池社長に「長距離無線技術で構築するIoTシステム」と題してご講演いただき、その後会員2社により、地域課題解決に向けた取組と、台風19号による被

災から復旧への取り組みを報告いただきました。

活動実績・成果

令和2年度は台風19号による被害から復旧しかけたとき、コロナ禍が追い打ちをかけ非常に厳しい状況でありました。どの様に会を運営し、コミュニケーションをどの様に深めたらよいかかわからず戸惑っておりましたが、ZOOMによるリモートを併用しつつ、ソーシャルディスタンスを保ちながらリアルな例会を恐る恐る進めてきました。

また被災から立ち直った経緯や、さらにはそれをBCPへつなげる活動にまで発展させた発表には、会員から多くの反響をいただきました。

更に今年度2社新たに会員が増え、活動に広がりを見せています。

今後は会員の皆さまの声を聴きながら、SNSなどのITツールを用いた会員同士のコミュニケーションアップにトライして、より活発に時代に応じた活動ができるよう進めたいと思います。



第2回例会の様子

「地域エネルギー利用技術研究会」事業

支援概要

「地域の再生可能エネルギー源（太陽光・熱、小水力、地中熱等）」の有効利用に必要な新技術開発を目指す地域製造業の研究開発活動を活性化するため、技術課題の探索及びその課題解決に資する技術シーズの紹介等を継続的に実施しています。



第1回 講演会

支援経緯

今年度1回目の事業として、非営利型一般社団法人デジタルグリッドコンソーシアムの阿部氏に「デジタルグリッドの作る地方分散型電力システム～地方再生の切り札を手中に～」と題して再生可能エネルギーの概略と長野県の再エネ3倍以上拡大シナリオについてご講演いただきました。また地域電力会社であるながの電力株式会社の塩澤様に事業内容について発表いただきました。

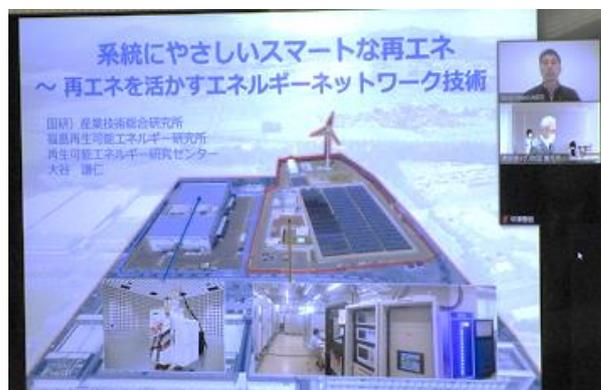
2回目の事業は、公立諏訪東京理科大学の渡邊教授に「農作物に必要な光を通す太陽電池を用いたSDGsファーム構想」についてご講演いただきました。

3回目の事業として国立研究開発法人産業技術総合研究所の大谷氏に「系統に優しいスマートな再エネ～再エネを活かすエネルギーネットワーク技術～」と題してご講演いただきました。

活動実績・成果

のべ76名の参加がありました。

「需要に応じた発電ができない」という再生可能エネルギーの問題に対し、簡単に電力のやりとりをするための「デジタルグリッド技術について」や、太陽光発電はエネルギー密度が低いために広大な面積が必要になりますが、発電パネルの下の土地で野菜栽培ができるパネル技術の理解が深まりました。最終的には研究開発プロジェクトの立ち上げを目指して活動していきたいと考えています。



第3回講演会

「善バレ・製造のIoT活用研究会」事業

支援概要

善光寺バレ管内の企業経営者から「最近話題になっているIoTやAIについて、あちこちでよく耳にするが、どういうものか内容がわからない。」というご要望やご意見を多くお寄せいただきました。

IoTに関するセミナーや研究会は県内各地でも商工会や支援機関などが主催するテーマとして頻繁に取り上げられていることから、善光寺バレ地域センターでは製造現場で加工機械の稼働データの収集を通じて実践的にIoTについて体験していただく事業、「善バレ・製造のIoT活用研究会」を開催してきました。



第4回例会の様子

支援経緯

第1回例会では、株式会社テクノアの西村恭範氏に「システム開発で日本のモノづくりを応援する～これまでに得られた知見とこれから見据える課題～」と題してご講演いただきました。

第2回例会では、「センターIoTキットの活用について」と題し長野県工業技術総合センターの北村泰地氏に、「生産現場IoT利活用共同研究について」と題し長野県工業技術総合センター窪田昭真氏に研修して頂きました。

第3回例会では、「製造業における

データ活用の第一歩～外観検査・生産計画へのAI活用を知る」と題し、株式会社スカイディスクの下佑士朗氏にご講演いただきました。

第4回例会では、「IoTにおけるエッジ・コンピューティングの在り方とは? ～中小企業の製品活用事例の紹介～」と題し株式会社金沢エンジニアリングシステムズの小林康博氏にご講演いただきました。

第5回例会では、以下二つの技術セミナーを開催しました。

「IoT研究会取組事例に学ぶ導入のポイントとAxisIoTのご紹介」

キッセイコムテック株式会社
細井健太 氏

「簡単、安価、短期間でのIoT構築をサポート PoC～本格的なエッジ・コンピューティングを実現」株式会社ソルティスター 岩井昇一氏

活動実績・成果

地域企業内でIoTを活用しようという意識が向上しました。別に開催している「Raspberry Piを用いたIoT入門講座」では、実際にキットを用いて実務技術者が勉強していますが、これと相まって実際に工場内へ導入を始める企業も見られるようになりました。以下の感想も寄せられています。

- ・社内のIoTの取組は今まではそれぞれの部署で情報収集をしていた。この研究会を機に社内でIoT研究会が開設されました。
- ・この研究会に参加してIoTキットを使う中で、何ができるか明らかになってきた。商品としてのIoT化もイメージを固めながらやっていきます。
- ・工場の中でのIoTは難しいが、ISOなど、今後は人が手で書いているところの自動化を進めていきます。